

【計画】 4-1 降水量等の変化による丹波黒大豆への影響調査

■ 目的

● 気候変動が丹波黒大豆に与える影響

将来の気候変動による気温の上昇や降水量の変化が、丹波黒大豆の栽培時期や品質に影響を及ぼす可能性があるが、丹波黒大豆は「京のブランド産品」の一つであり、他品種への切り替えは困難である。

● 現在までに顕在化している影響

品質の悪化につながる成熟遅延等の発生頻度が増加している。

● 調査内容

既存データから気象要素と収量・品質との関係を整理するとともに、黒大豆の品質悪化に繋がる成熟遅延に関する対策の有効性検証を目的とした栽培実験を実施し、得られた既存データ及び新規データにより、気象要素(気温、降水量等)と収量及び品質との関係性を解析する。将来の気候変動時における黒大豆の収量及び品質の変化や気候変動に適応可能な黒大豆栽培方法をまとめ、適応策を検討する。

不定形裂皮の多発



規格外品の増加

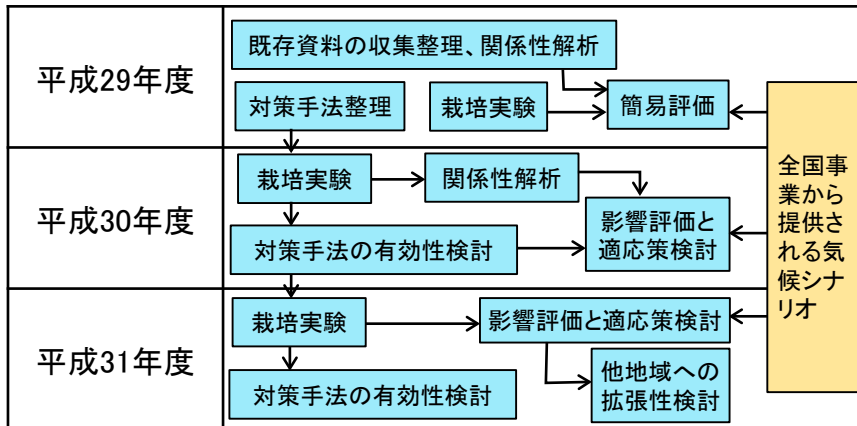


成熟遅延(青立ち)



図 丹波黒大豆への影響例 (写真:京都市農林水産技術センター提供)

■ 調査計画



■ 実施体制

